

中学 2 年 国語科 教材別テスト① 「見えないだけ」

教材別リメイク版 中学 2 年 国語

2 年 組 番 氏名 _____

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（P. 1～P. 4）までです。
- 大問四は、教科書『国語2』（光村図書）の「見えないだけ」を開いて解答しなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能 （50点）

一

次の——線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合は、必ず書くこと。

1点×20＝20点

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 雄大な <u>山脈</u> 。 | ② 明るい <u>雰囲気</u> 。 |
| ③ 木の陰に <u>隠れる</u> 。 | ④ <u>確かな</u> 手ごたえ。 |
| ⑤ 勇気が <u>湧く</u> 。 | ⑥ 春の <u>兆し</u> 。 |
| ⑦ 鳥が <u>翼</u> を広げる。 | ⑧ 海の <u>彼方</u> を見る。 |
| ⑨ 庭の <u>垣根</u> 。 | ⑩ 雨上がりの <u>虹</u> 。 |
| ⑪ 将来に <u>きぼう</u> をもつ。 | ⑫ 友人を <u>しんらい</u> する。 |
| ⑬ <u>うちゅう</u> の広がり。 | ⑭ <u>きせつ</u> がめぐる。 |
| ⑮ <u>ちへいせん</u> をながめる。 | ⑯ <u>あたたかい</u> 日ざし。 |
| ⑰ 星が <u>かがやく</u> 。 | ⑱ <u>あざやかな</u> 色。 |
| ⑲ 日が <u>しずむ</u> 。 | ⑳ <u>やわらかい</u> 風。 |

二 次の問いに答えなさい。(語句の知識)

2点×7=14点

- (1) 「現実」の対義語を、漢字二字で書きなさい。
- (2) 「未来」の対義語を、漢字二字で書きなさい。
- (3) 慣用句「胸をふくらませる」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 息を大きく吸いこむこと。 イ これから先への期待で、心をいっぱいにする事。
ウ いばった態度をとること。 エ 不安で落ち着かなくなること。

- (4) 慣用句「息をのむ」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア おどろきや感動のあまり、一瞬息を止めること。 イ つかれて息が切れること。
ウ 言いたいことをがまんすること。 エ 静かに水を飲むこと。

- (5) 「彼方」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 遠くはなれた向こうのほう。 イ すぐ目の前のところ。
ウ 過ぎ去ってしまった昔。 エ 決められた一つの方向。

- (6) 「兆し」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 物事が起こりそうな様子。前ぶれ。 イ 物事が終わりに近づくこと。
ウ 非常に大きな数のこと。 エ 決まりきった形のこと。

- (7) 「道路」と熟語の組み立てが同じものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 高低 イ 永久 ウ 読書 エ 国立

三 次の説明にあてはまる、詩の表現技法や詩についての用語を答えなさい。

2点×8=16点

- (1) 「雪のような花」のように、「ようだ」「ような」「みたいだ」などの言葉を使って、あるものを別のものにたとえる技法。漢字二字で答えなさい。
- (2) 「人生は旅だ」のように、「ようだ」などの言葉を使わずに、直接たとえる技法。漢字二字で答えなさい。
- (3) 「風がささやく」のように、人でないものを人のように表す技法。
- (4) 同じ言葉や同じ言い方をくり返して、調子を整えたり意味を強めたりする技法。
- (5) 「美しいなあ、この空は。」のように、ふつうの語順を入れかえて印象を強める技法。
- (6) 「静かな夜の海。」のように、行や文の終わりを名詞で止める技法。
- (7) 詩の中で、内容のまとまりごとに一行空けて区切られた、ひとまとまりの部分。
- (8) 音数や行数の決まりにしばられず、現代の話し言葉で書かれた詩。漢字五字で答えなさい。

四

教科書『国語2』（光村図書）の「見えないだけ」（牟礼慶子）を開いて、後の問いに答えなさい。

50点

（１）詩の最初の部分では、対になる二つの場所が並べて書かれている。その組み合わせとしてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

ア 空と海 イ 山と川 ウ 町と村 エ 朝と夜

（２）（１）のように、似た組み立ての行を並べて対応させ、リズムを生み出す表現技法を、漢字二字で答えなさい。 3点

（３）この詩の中でくり返し使われている語を、次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

ア もっと イ きっと ウ ずっと エ やっと

（４）（３）の語がくり返されることによって、この詩は読者にどのような印象をあたえているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 同じことばかりが続き、退屈だという印象。
イ 目に見える世界のさらに先へと、世界が限りなく広がっていく印象。
ウ 遠くへ行かなければ幸せになれないという、あせりの印象。
エ 今いる場所から逃げ出したいという、さびしさの印象。

（５）この詩では、海や風、世界などの様子が、人の動作を表す言葉（「眠る」「待つ」など）で書かれている。このような表現技法を答えなさい。 3点

（６）（５）の技法が使われていることによって、この詩に書かれた、まだ見えない世界はどのように感じられるか。「～という感じ。」の形で、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 6点

（７）詩の終わりの部分にある「あんなに確かに」という言い方には、話し手のどのような思いが表れているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 今は見えない世界を、少しも疑っていない思い。
イ 見えないものは、やはり存在しないのだろうという疑いの思い。
ウ 遠くにあるものなど、自分には関係がないという思い。
エ 目に見えるものだけを信じていこうとする思い。

四

(つづき)

(8) 題名「見えないだけ」の「だけ」には、どのような意味がこめられているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 見えないものは、はじめから存在しないという意味。
- イ 目に映っていないのは今のあいだけで、なくなったわけではないという意味。
- ウ どんなに努力しても、一生見えることはないという意味。
- エ 見えないほうが、かえて幸せだという意味。

(9) この詩で、話し手のものを見る視点はどのように動いていくか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 3点

- ア 遠くはなれた場所から、自分の手もとへとせまってくる。
- イ 身近な場所から出発して、遠い場所、そして先の時間へと移っていく。
- ウ 現在から昔へと、少しずつさかのぼっていく。
- エ 同じ一つの場所にとどまり続け、まったく動かない。

(10) この詩の主題を、二十五字以上四十字以内で書きなさい。 7点

(11) この詩を音読するとき、あなたはどのような読み方を工夫するか。工夫とその理由を合わせて、四十字以上六十字以内で書きなさい。 5点

(12) 次のア～オの文のうち、人でないものを人のように表している文を全て選び、記号で答えなさい。【完答】 5点

- ア 星がまばたきをしながら笑っている。
- イ 雪のように白いほおをした少女。
- ウ 空が悲しそうに泣いている。
- エ 時は金なり。
- オ 鳥が高い空を飛んでいく。

解答用紙① 知識・技能

中学2年 国語科 教材別テスト①「見えないだけ」

2年	組	番	氏名	_____
----	---	---	----	-------

知識・技能 小計

一 漢字 (1点×20)	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二 語句の知識 (2点×7)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三 詩の表現技法 の用語 (2点×8)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

解答用紙② 思考・判断・表現

中学2年 国語科 教材別テスト①「見えないだけ」

2年 組 番 氏名 _____

思考・判断・表現
小計

合計（100点満点）

四 「見えない だけ」の読解 (50点)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)			
	(6)			
	(7)		(8)	
	(9)			
	(10)			
	(11)			
	(12)			

※ 記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。字数は（6）25～35字、（10）25～40字、（11）40～60字です。（12）は完答で正解となります。

